



日本共産党 京都市会議員

北山ただお市会報告 2014年9月下旬号

日本共産党山科区生活相談所 山科区大手先町8-8 TEL595-8342

「北山ただおのホームページ」・フェイスブック連日更新中

市政報告懇談会

市政を変えて暮らしを守りましょう。

十二日、日本共産党市会議員団主催の「市政報告懇談会」が開催され、党議員団と来春の選挙をたたかう予定候補の皆さんも参加されました。

山中市議団長が市政の特徴や最近の情勢の特徴などについて報告し、続いて井坂幹事長が九月市会の特徴や議員団の論戦方向、台風や豪雨災害について、十三年度会計決算について、京（みやこ）プラン、市民要求運動と党議員団の前進などについて報告しました。

参加された皆さんからのご意見や要望が出されました。障害者福祉の問題や介護について、大雨の対策の要望、地方交付税と臨時財政対策債との関係、学校運営費問題、小学校のプール事故について、看板規制問題、国保の改善と一部負担金免除制度について、税金の無駄遣いをなくすこと、リフォーム助成制度の実現、原発再稼働させない運動について、融資制度の改善や中小業者支援についてなど、ご意見が盛り込まれました。皆さんのご期待にこたえて大いに論戦を行います。



市政調査活動

来春のいっせいで地方選挙を控えて、党市会議員団と予定候補がいつしよになって、市内の重要課題の関連施設を調査しました。岡崎周辺や東部山間埋立地、大岩海道、南部クリーンセンター、キリンビル跡地、旧山ノ内浄水場などを回って説明を聞きました。



平和夏祭り

山科民商主催の「平和夏祭り」が行われました。あいにくと当日は夕方から強い雨が降りましたが決行です。私は「消費税一〇%増税中止に全力を挙げます。政治を変えてご商売を守ります」とごあいさつし、参加者の皆さんと歓談。

2014 京都まつり

9月23日(火・祝) 10:00

～

宝ヶ池公園一帯 (雨天決行)

北山ただおのひとこと

秋らしい日となってまいりました。過日私は、大阪弁護士会館ホールで、日弁連第57回人権擁護大会プレシンポジウム「広域避難者の安定した住宅保障はどうあるべきか」に参加しました。東日本大震災、東京電力福島原発事故から3年半がたとうとしている現在、まだ多くの方が避難生活を余儀なくされていて、関西でも694名(14年7月4日現在)も避難されているとのこと。その多くの方が仮設住宅の入居期限の扱いに深い関心を持っていて、安定した住居の確保は避難者意向調査でも断トツの課題です。

日本弁護士連合会、災害復興支援委員会副委員長、兵庫県弁護士会の津久井進弁護士が、「災害時の避難者の住宅保障と今後のあるべき施策」と題しての基調講演がされました。津久井弁護士は、今年4月28日に福島民友の福島県・避難者意向調査でも「仮設入居延長4割超要望」していること、1年先にどこに住むかわからないようでは「生活の予定が立たず、仕事を決められず、進学先も決められない、何もできないなど、これでは生活の再建などあり得ないこと、原発避難者の声でも仮設住宅期限撤回を求める意見に16002筆の署名が寄せられていること、仮設住宅の延長の仕組み、延長状況、日弁連の会長声明などについて報告されました。続いて5名の避難者からの発言がされ、避難者の住宅施策に関する要望や現状の発言がされ、その後支援者の皆さんによるパネルディスカッションとなりました。安定した住宅保障に努力していくことが呼びかけられました。大震災も原発被害も解決していません。このシンポで学んだことをこれからの活動に生かしていきます。